



インフルエンザ

インフルエンザは毎年冬に流行する感染症ですが、発熱・咳・倦怠感などの症状が強く、治りにくいと言われています。上記の症状が数日から1週間くらい続きます。

インフルエンザ合併症

中耳炎・気管支炎・肺炎などがありますが、乳幼児の脳症のように過剰な免疫反応が原因と考えられる合併症も見られています。脳症は、1～5歳に多くみられます。

インフルエンザに感染しない・人にうつさない



①予防接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性をある程度抑えたり、発症しても重症化を予防する効果があります。インフルエンザは重症化すると肺炎や脳症を発症することがあります。
※13歳未満の子どもは1回接種よりも2回接種のほうがより高い抗体価の上昇が得られます。



②潜伏期間

インフルエンザにかかってから、くしゃみや咳、悪寒、発熱などの症状が出るまでの期間を「潜伏期」といって、1日～3日（平均2日）です。



③感染予防

- ①帰宅したら、必ずうがい・手洗い、顔を洗う。
- ②インフルエンザは飛沫感染です。咳・くしゃみが出る時はマスクをしましょう。マスクをすることで他の人からの感染も防げます。人が大勢集まるようなところには行かないようにしましょう。

